

事前評価個表

事業名	国有林直轄治山事業 (復旧治山)	事業実施計画期間	平成25年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	おとがわしりゅう 男川支流 (愛知県)	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛知県東部、三河丘陵の独立峰である本宮山麓に位置している。地質は、領家変成岩類によって覆われているが、これらの基岩は亀裂に富んでおり、剥離型落石を引き起こしやすく、溪床には転石が堆積し、流出土砂の生産源となっている。</p> <p>闊苧溪谷に沿って闊苧林道が通過しており、林道山側の山脚部は流下土石が扇状地状に堆積し、蛇行流路が形成され侵食荒廃が進んでいる。上流部では急勾配の溪床から溪岸山脚にかけて崩落流下石礫や岩塊が堆積しており、豪雨時の流水でこれらが流下して林地荒廃が拡大するおそれがあるとともに、林道やキャンプ場にも土砂災害を及ぼすおそれがある。</p> <p>このため、溪間工による山脚の固定、溪床の侵食防止、不安定土砂の流出防止などを図り、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p>		
	<p>主な事業内容 溪間工 1基 主な保全対象 林道 50m 総事業費 19,000千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	23,585千円	
	総費用(C)	18,269千円	
	分析結果(B/C)	1.29	
森林管理局事業評価技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 溪床内に堆積する不安定土砂の状況から、放置すると今後の集中豪雨等の際に不安定土砂が流出し、被害を与えるおそれが高い。このため、溪間工による山脚の固定及び不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全を図るため実施するものであり、当該事業の必要性は十分認められる。 ・効率性 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・有効性 本事業を実施することにより、不安定土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、本事業の有効性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流域への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山
施行箇所：男川支流

都道府県名：愛知
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	3,666	
	流域貯水便益	2,369	
	水質浄化便益	5,024	
山地保全便益	土砂流出防止便益	9,639	
	土砂崩壊防止便益	2,272	
環境保全便益	炭素固定便益	615	
総 便 益 (B)		23,585	
総 費 用 (C)		18,269	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{23,585}{18,269} = 1.29$		

事前評価個表

事業名	国有林直轄治山事業 (復旧治山)	事業実施計画期間	平成25年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>たなやま</small> 棚山 (愛知県)	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛知県の北東部に位置し、豊川支流寒沢川の水源地帯となっている。地質は、第三紀流紋岩質凝灰岩などで形成され、部分的に急傾斜の露岩地帯がみられるものの全体としては比較的穏やかな地形となっている。全域がレクリエーションの森(風景林風致地区)であり、東海自然歩道のルートとなっている。</p> <p>平成24年の集中豪雨により山腹崩壊が発生した。山腹にある表土が崩落し、岩石が露出した状態となっている。そのまま放置すれば崩壊地がさらに拡大する可能性が高い。</p> <p>このため、山腹工の施工により崩壊地の拡大を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p style="text-align: center;"> 主な事業内容 山腹工 0.04ha 主な保全対象 林道 160m 総事業費 18,000 千円 </p>		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	19,890 千円	
	総 費 用 (C)	17,307 千円	
	分析結果 (B/C)	1.15	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 崩壊地が発生していることから、放置すれば今後の集中豪雨等の際に、崩壊地がさらに拡大する危険性が高い。崩壊地を復旧し、下流域の保全を図るため実施するものであり、当該事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧し、下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流域への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山
施行箇所：棚山

都道府県名：愛知
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	242	
	流域貯水便益	129	
	水質浄化便益	283	
環境保全便益	炭素固定便益	42	
災害防止便益	山地災害防止便益	19,194	
総 便 益 (B)		19,890	
総 費 用 (C)		17,307	千円
費用便益比		$B \div C = \frac{19,890}{17,307}$	= 1.15

事前評価個表

事業名	国有林直轄治山事業 (復旧治山)	事業実施計画期間	平成25年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	悪沢 (愛知県)	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛知県の北東部、東三河の山間部に位置している。地質は、古生層に由来する領家変成岩であり、古くから多数の崩壊や溪流の荒廃が発生している。</p> <p>当流域は、溪床に基盤岩が露出するが、基盤岩の上には上流及び支流から流出した土石及び流木が厚く堆積する区間もみられ、近年の局所的集中豪雨等の際にはこれらの再移動が懸念される。</p> <p>このため、溪間工による山脚の固定、溪床の侵食防止、不安定土砂の流出防止などを図り、保全対象への保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p style="text-align: right;">主な事業内容 溪間工 1基 主な保全対象 林道 120m 総事業費 29,000 千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	31,644 千円	
	総費用(C)	27,884 千円	
	分析結果(B/C)	1.13	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 溪床内に堆積する不安定土砂の状況から、放置すると今後の集中豪雨等の際に不安定土砂が流出し、被害を与えるおそれが高い。このため、溪間工による山脚の固定及び不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全を図るため実施するものであり、当該事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧し、保全対象への保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 <p style="text-align: center;">新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流域への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表 (治山事業)

事業名：復旧治山
施行箇所：悪沢

都道府県名：愛知
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,193	
	流域貯水便益	491	
	水質浄化便益	1,049	
環境保全便益	炭素固定便益	115	
災害防止便益	山地災害防止便益	28,796	
総 便 益 (B)		31,644	
総 費 用 (C)		27,884	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{31,644}{27,884}$		= 1.13

事前評価個表

事業名	国有林直轄治山事業 (保安林改良)	事業実施計画期間	平成25年度～平成29年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	こしぶがわ 小渋川ほか (長野県)	事業実施主体	中部森林管理局 南信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県南東部に位置し、東に南アルプス連峰、西に中央アルプス連峰が連なり、その中央を天竜川が南流している。森林面積は総面積の81%を占めそのうち国有林面積は24%であるが、奥地に所在していることから、国土保全や水源涵養に重要な役割を担っている。雨量が多いこともあって、天竜川水系は発電用水とともに、諏訪地方、伊那地方、静岡県の生活用水、工業用水等の重要な水源地帯となっている。</p> <p>一方、優れた自然景観を呈する森林を有している国有林は、南アルプス国立公園等に指定され森林レクリエーション等の場として多くの人に利用されており、自然環境の保全形成及び国民の保健休養の場の提供など公益的機能の発揮の上で重要な役割を果たしている。</p> <p>森林の現況は、人工林が35%、天然林65%となっている。人工林はカラマツが特に多く80%、ヒノキ14%となっている。</p> <p>事業対象森林の齢級配置はⅣ～Ⅹ齢級で、過密状態などによりそのまま放置すれば、表土の流出による崩壊や土砂、流木の流出が発生する恐れがある水土保全機能が著しく低下した保安林となっている。</p> <p>このため本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p style="margin-top: 20px;">主な事業内容 本数調整伐 613.55 ha</p> <p>総事業費 110,000 千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	306,756 千円	
	総費用(C)	97,904 千円	
	分析結果(B/C)	3.13	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 森林の状況から、そのまま放置すれば保安林の水土保全機能が著しく低下し、表土の流出による下流域への被害が懸念されるため事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業を実施することにより、低下した保安林の公益的機能が回復するとともに、崩壊地の発生による土砂や流木の流出が未然防止され、下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p style="margin-top: 20px;">新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流域への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林改良
施行箇所：小渋川ほか

都道府県名：長野
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	306,756	
総 便 益 (B)		306,756	
総 費 用 (C)		97,904	千円
費用便益比		$B \div C = \frac{306,756}{97,904}$	= 3.13

事前評価個表

事業名	国有林直轄治山事業 (保安林改良)	事業実施計画期間	平成25年度～平成29年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	かしまがわ 加子母川ほか (岐阜県)	事業実施主体	中部森林管理局 東濃森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、岐阜県南東部に位置し、西部は全般に緩やかであるが、東部の長野県境は急峻となっており、国有林は、その多くが御嶽山から連なる山岳地帯を境にして木曾谷の西部及び恵那山山麓に所在し、中京圏の生活用水及び工業用水の重要な水源地帯となっている。また、東濃桧に代表される優良材の産地であるとともに、ヒノキ・サワラを主体とした貴重な天然林を有している。</p> <p>一方、霊峰御嶽山から連なる1,000mを越える三国山や恵那山等の山岳、付知川や木曾川等の渓谷美、人工林と天然林とが織りなす森林美等の優れた自然景観を有しており、国有林には真木曾県立自然公園等が指定され、自然環境の保全形成及び国民の保健休養の場の提供など公益的機能の発揮の上で重要な役割を果たしている。</p> <p>森林の現況は、スギ・ヒノキを主体とした人工林が52%と多く、その樹種割合はヒノキ75%、スギ10%、カラマツ4%となっている。</p> <p>事業対象森林は、IV～X齢級のヒノキを主体とした林分で、過密状態などにより、このまま放置すれば、表土の流出による崩壊や土砂、流木の流出が発生する恐れがある水土保全機能が著しく低下した保安林となっている。</p> <p>このため本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p style="text-align: center;">主な事業内容 本数調整伐 333.28 ha 総事業費 59,000 千円</p>		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	208,303 千円	
	総 費 用 (C)	52,012 千円	
	分析結果 (B/C)	4.00	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 森林の状況から、このまま放置すれば保安林の水土保全機能が著しく低下し、表土の流出による下流域への被害が懸念されるため事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業を実施することにより、低下した保安林の公益的機能が回復するとともに、崩壊地の発生による土砂や流木の流出が未然防止され、下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流域への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林改良
施行箇所：加子母川ほか

都道府県名：岐阜
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	208,303	
総 便 益 (B)		208,303	
総 費 用 (C)		52,012	千円
費用便益比		$B \div C = \frac{208,303}{52,012}$	= 4.00

事前評価個表

事業名	国有林直轄治山事業 (保安林改良)	事業実施計画期間	平成25年度～平成29年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	寒狭川上流ほか (愛知県)	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛知県東部に位置し、西部に美濃三河高原の寧比曾岳、本宮山などの山地が、北部には茶白山、三国山などの山々が、東部は静岡県と境をなす蔦ノ巣山、富幕山、弓張山系などを経て南部の豊橋平野へ続いている。国有林は約8千haで区域面積の4%を占めている。</p> <p>当地区の中で旧南・北設楽郡は、古くから林業地で、スギ、ヒノキの人工造林が行われ、「三河材」の産地形成が推進されている。</p> <p>一方、茶白山や本宮山などの山地と、豊川や鳳来峽をはじめとする美しい渓谷、林業地の整備された人工林が織りなす森林美等の優れた自然景観に恵まれており、国有林には天竜奥三河・愛知高原国定公園、段戸高原県立自然公園などが指定され、自然環境の保全形成及び国民の保健休養の場の提供など公益的機能の発揮の上で重要な役割を果たしている。</p> <p>森林の現況は、スギ・ヒノキを主体とした人工林が92%を占め、その樹種割合はヒノキ75%、スギ12%、その他13%となっている。</p> <p>事業対象森林は、IV～X齢級のヒノキを主体とした林分で、過密状態などにより、このまま放置すれば、表土の流出による崩壊や土砂、流木の流出が発生する恐れがある水土保全機能が著しく低下した保安林となっている。</p> <p>このため本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 本数調整伐 569.70 ha 主な保全対象 総事業費 98,000 千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	306,327 千円	
	総費用(C)	85,666 千円	
	分析結果(B/C)	3.58	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	/		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 森林の状況から、このまま放置すれば保安林の水土保全機能が著しく低下し、表土の流出による下流域への被害が懸念されるため事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業を実施することにより、低下した保安林の公益的機能が回復するとともに、崩壊地の発生による土砂や流木の流出が未然防止され、下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流域への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林改良
施行箇所：寒狭川上流ほか

都道府県名：愛知
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	流域貯水便益	306,327	
総 便 益 (B)		306,327	
総 費 用 (C)		85,666	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{306,327}{85,666} = 3.58$		